

韓国のプラスチックごみ問題

人間科学部コミュニケーション学科4年 大信田珠莉

韓国・大邱カトリック大学

1. SDGs のテーマ

私が取り組んだ SDGs 課題のテーマは「韓国のプラスチックごみ問題」についてです。わたしのテーマは SDGs17 の目標の中でも「目標 12：つくる責任、つかう責任」に大きく関連しているといえます。

2. テーマを選択した理由

プラスチックのゴミ問題は日本でも大きな問題だと言われています。日本ではコンビニやスーパーでのレジ袋有料化やファミリーマートでのプラスチック製フォーク提供の原則廃止などプラスチック削減のためにいくつもの政策を行っています。隣国である韓国ではどのような対策をしていてどのような現状になっているのか知りたいと思いこのテーマを選びました。

3. 留学先での活動計画と実際に取り組んだ内容、調査・観察したこと

まず1か月目は、実際に校内や街中の現状を観察することを目標に調査を行いました。学校内や街中の様子を観察した結果は、校内にも街中にもゴミのポイ捨てが多いとわかりました。校内では特にカフェなどのテイクアウト用のプラスチックカップが多く捨てられていました。また街中ではプラスチックカップ以外のゴミも捨てられていましたが、校内と同じくプラスチックカップが多く捨てられている印象を受けました。また寮のゴミ捨て場にも多くのプラスチック容器が捨てられていました。そのほとんどがテイクアウトや出前の容器でした。韓国では出前文化が発達していることから、プラスチックゴミが多いのではないかとこの予想ははしていました。この予想はあながち間違いではなかったのではないかと思います。

2か月目は、「学校内や街中の様子を観察する」と「政府や地域政府の取り組みを知る」を目標に調査を進めました。「学校内や街中の様子を観察する」の調査結果です。先月と同様に学校内と学校周辺、大邱の街中を観察しました。学校内と学校周辺の道端には先月と同じくカフェのプラスチックカップが多く捨てられていました。大邱の街中は行った日が連休中で人が多かったことから先月よりもプラスチックゴミが多く捨てられていました。テイクアウト用のコーヒーカップ以外にもペットボトルが多く捨てられていてポイ捨ての多さに驚きました。次に「政府や地域政府の取り組みを知る」の調査結果です。대한민국 정책브리핑によると、韓国で持続可能性の概念とは「현재 세대의 필요를 충족하기 위해

SDGs 報告書

미래 세대가 사용할 경제·사회·환경 등의 자원을 낭비하거나 여건을 저하시키지 않고 서로 조화와 균형을 이루는 것(現在の世代のニーズを満たすために将来の世代が使用する経済・社会・環境などの資源を浪費したり、環境を低下させたりすることなく、互いに調和と均衡を保つこと)」を意味すると述べられています。そして大邱には 대구지속가능발전협의회(大邱持続可能發展協議会)という民間協力機構が設立されており、持続可能な發展を推進するためにさまざまな活動をしています。さまざまな活動の中でも未来の世代の中心となる子どもたちに対して気候教室を開くなどして教育に力を入れていることがわかりました。

3 か月目は、「友人や先生に現状を聞く」ということを目標に調査を進めました。プラスチックを減らすために、カフェなどに行くときは自分用のタンブラーを持ち歩いたり、使い捨てのものではなく繰り返し使えるものを使用したりするといった回答を得ることができました。特に出前でご飯を頼むときにプラスチック製品のスプーンやフォークを受け取らないようにしているという回答にとっても驚きました。韓国は出前文化が発達している国なので文化にあわせて対策ができるのはとても良いことなのではないかと考えました。

4. 活動や調査の結果についての考察、日本（茨城）との比較

まず SDGs について知らない人が多いと感じました。特に SDGs についての呼びかけなどが行われている様子が無かったのでとても驚きました。しかしカフェでマイタンブラーを使用したり分別が厳しかったりと自然に行っていることが多かったです。

5. 日本（茨城）に提案できること

まず SDGs をもっと積極的にアピールしていくことを提案したいと思います。私自身 SDGs について詳しくなったのはこの課題をやり始めてからで、それまでは SDGs という単語だけを知っていて内容までは詳しく知りませんでした。内容を知ってどんな取り組みがされているのかをすれば取り組みやすくなり身近に感じることはできるのではないかと考えました。

次に、プラスチックごみについての提案です。日本ではレジ袋を有料にしたりストローを紙にしたりとプラスチックを削減するためにたくさんの政策が行われています。ペットボトルをリサイクルしてポイントがもらえるシステムもその中の一つでしょう。しかし、それらは私たちが積極的に行いたいと思えるものが少ないような気がしています。そこでレジ袋を辞退した時にはポイントを貰えたりそのポイントで何かと交換できたりするシステムを開発することを提案します。またスーパーなどでペットボトルをリサイクルしてポイントに変えることができるシステムがありますが、私の身近にあるスーパーやコンビニエンスストアには設置されていないところも多いです。設置箇所を増やして、リサイクル

SDGs 報告書

を身近に知ってもらうことがプラスチック削減に積極的に取り組んでもらうための第一歩になるのではないかと考えました。